

第 91 回日本細菌学会関東支部総会報告

千葉大学大学院薬学研究院
微生物薬品化学研究室 山本 友子

第 91 回日本細菌学会関東支部総会は、平成 20 年 10 月 23 日、24 日両日、千葉県「生命の森リゾート」で開催され、無事に終了することができました。今回の総会は「懇親を深めながら研究発表・討論・意見交換ができるよう、場合によっては夜を徹して語り合えるよう」関東支部総会には珍しく森の中での合宿スタイルで行いました。

36 題の一般演題発表では、周囲の雰囲気や反応を反映してか、若い研究者によるリラックスした質疑応答が印象的でした。2 つの特別講演、「Intracellular activities of *Salmonella* : David Holden 教授 (Imperial College London)」と「細胞内自己消化システム・オートファジーによる生体防御 : 吉森 保 教授 (大阪大学・微生物学研究所)」では活発な討論が展開され、**membrane trafficking** をキーワードに感染と宿主応答のメカニズムについての理解を深める良い機会となりました。座長の先生には限られた時間で進行にご尽力いただき改めて御礼申し上げます。交通の面ではご不便をおかけしましたが、研究の向上につながる交流の場であった事、又、新しい共同研究開始の機会となった事など、感想をいただいております。会員各位のご協力に深く感謝申し上げます。

一般講演



Holden 教授の特別講演



吉森教授の特別講演



夕食風景



学会場玄関にて

総会運営スタッフ(微生物薬品化学研究室員)

